

学 年	高校 1 年	必修・選択の別	必修
教 科 名	総合的な探究（WWL 科目）	単 位 数	1 単位
科 目 名	Sustainable Society Study	担 当 者	帖佐香織、朴元炯怜、北川浩司、谷口健太、坂下淳一、吉田恵津子
講 座	A/B/C/D/E/F 講座		

科目のねらい（目標）

この授業は、文部科学省の委託事業である「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」のひとつのプログラムです。同志社国際高等学校が拠点校となり、同志社大学等と協働して新しいカリキュラム開発を行い、国内外の連携校とともにそのカリキュラムに取り組みます。1 年生は、「Sustainable Society Study」が設定され、必修科目となっています。このプログラムでは、様々な社会課題について学び、その解決策を考えるプロセスを通じて、学んだ知識等を基礎として、答えのない問いに取り組む力を養います。グローバルな社会課題への解決を目指す SDGs の達成に貢献するため、世界中から集まる帰国生徒と国内一般生徒がこれまで身に着けた経験や知識を共有することで新しいアイデアを構築することもできるでしょう。また、この講座で学んだことを踏まえ、住んだことのある場所を改めて見てみると、新たな発見があるかもしれません。

具体的には、SDGs 17 の目標のうち、特に「# 11 住み続けられるまちづくりを」を中心テーマとして、本プログラムは展開されます。「まちづくり」とは何か、ということを通して、社会がどのように成り立っているのか、政府や地方自治体、企業や国際機関、そして市民は社会のなかでどのような役割を担っているのかということ、皆さんが理解するきっかけとなることを目指します。また、持続可能なまちづくりを目指しておこなわれている国内外の先進事例について学んだり、自分たちで政策を考えてみることで、自分自身が社会の一員であり、同じように社会の一員である誰かの努力によってより良い社会がつけられていること、そして自分も何かができることを知ってください。大学の研究者の特別講義や、本校が所在する京田辺市市長の講演も予定しています。

また、この講座の内容にとどまらず、今後の学びの基礎となる、Academic Skills の習得を目指します。特に、問題の分析・調査の方法や、批判的思考、議論をしたり、その結果をまとめて発表したり、レポートを書いたりする技術の習得を目指します。Academic Skills は、この学校はもちろん、卒業後にも生かされるものです。

そして、FW などを通じて、自分の部屋や学校で「学ぶ」だけでなく、社会に積極的に関心を向け、主体的に行動できる人になってほしいと思っています。

学習の進め方

全体に対する講義形式、クラスでのグループワーク、Google Classroom を活用したオンラインクラスのハイブリッド形式の授業とします。週に 1 回の授業ではなく、月 1 回程度、集中講義を実施します。次回の授業についてなど Google Classroom を通じて連絡をしますので注意して見ておくようにしてください。

生徒の学習上の留意点

この講座は、理科、社会、美術、聖書、家庭科というバラエティ豊かな教科の教員がチームティーチングで担当します。時に先生方の意見が異なることもあるかもしれませんが、ぜひそのようなことも含めて楽しんでみてください。また、世界の問題を自分の問題としてとらえることのできる主体性をもち、皆で協働して問題解決を目指す姿勢をもってください。授業で与えられる課題に取り組むのはもちろんのこと、興味を持ったテーマについて自らさらに調べたり、ニュースを見ること、そして周囲の人と意見交換をしてみることも大切です。グループワークでは自分のできることで貢献しようという意識と、SDGs の大前提でもある「誰も取り残さない」が大切です。それぞれの長所を生かしましょう。

評価方法

学年末に認定、不認定を評価します。課題の未提出に気を付けましょう。

授業計画

学期	授業内容	各単元のねらい
1	グローバルな社会課題、SDGs、まちづくり、Academic Skills	学習を進める上での基礎的な知識や技術を身につける、Academic Skills を身に着ける
2	まちづくりの先進的な政策事例、皆が住んだことのあるまち、Academic Skills	様々な事例について学習する、Academic Skills を身に着ける、京田辺市についても学習する
3	政策提案	政策提案を行う、まちづくりに主体的に関わることができるという意識をもつ

